

一番茶の収穫が終わり、農家の皆さんは、棚田の畦塗りや代掻きなど、田植え準備に大忙しです。早い方は田植えもはじまったようです。今年は雨が少なく、降っても湿る程度の雨で、水不足の田んぼが多いようです。まとまった雨が欲しいものです。

今月のお米 宮園福夫さん「ヒノヒカリ（特別栽培米）」：鹿子尾地区



田んぼに水を入れる作業をしていた宮園福夫さんに話を聞きました。

20歳で1ターンして農業を始め、茶畑は40年で面積が3倍になったそうですが、田んぼの面積は変わらないということでした。15～20年くらい前までは主に田んぼの仕事は親世代がやっていた、自分は田植えや収穫時期の機械作業を担っていたそうですが、現在は夫婦二人。お茶や農産物の価格が下がり、中山間地・山間地で農業を続けるのは難しい、といつも悩みながら仕事しているそうです。

今年の田んぼは、雨が降らずに水不足。水路が整っているところは良いが、谷水がほとんど流れていないところもある。と心配されていました。

サポーターの皆さんへの一言「棚田での米づくりを食べて支えていただくとありがたい。」だそうです。皆さん、どうぞよろしくお願いします！

◆農薬化学肥料不使用をお申込みの方、玄米注文の方には、山村塾「笠原棚田米プロジェクト無農薬実験田のヒノヒカリ」をお届けしています。

◆事務局より

○サポーター募集中！ 6年目を迎えた笠原棚田米では新しいサポーターさんを募集しています。チラシを配布・設置のご協力いただける方は事務局までお知らせください。また紹介用のサンプル（白米450g）もお届けします。興味のある方いらっしゃいましたらご紹介よろしくお願いします！

○次回のお届け 次回（7/3発送）は桁山稔博さんの「ヒノヒカリ（特裁米）」をお届け予定です。

※精米歩合の変更や配達先変更をご希望の方は、発送の前月20日までにお知らせください。



こめづくり もりづくり ひとづくり

山村塾

美しい棚田を未来へ

特定非営利活動法人 山村塾

〒834-1222 福岡県八女市黒木町笠原 9836-1

TEL/FAX:0943-42-4300 E mail : info@sansonjuku.com

山村塾 HP <http://sansonjuku.com>

【現在のサポーター数】5月91→90名/110.25俵（個人：88、企業/団体：2）

【守られている棚田面積】18,375㎡（110.25俵⇒184a 収量6俵/10aとして）

※美しい棚田の風景と、それを守り引き継ぐ仕組みづくりを目指して、

お米を食べて応援して下さるサポーターを募集しています！ [チラシはこちら](#) →

